

# 満タン&灯油プラス1缶運動

## 2022年度 実績報告書

災害でも

# 満タンで安心



灯油プラス1缶で安心



### 満タン&灯油プラス1缶運動!

地震 台風 大雪

大きな災害が起きると…

ガソリンスタンドに長蛇の列 売り切れや機械停止

立ち往生

停電

様々なトラブルに見舞われます。

もしもの時のために

## 燃料は満タンで安心♪ 灯油プラス1缶で安心!

エアコンで快適♪

車中泊もできる!

車でスマホやノートPCが充電できる!

灯油ストーブであったか!

燃料メーカーが半分になったら満タンに。灯油は1缶多めに。

日本は災害の多い国です。普段から災害に備えましょう。

「満タン&灯油プラス1缶運動」を私たちは展開しています。

主催：全石連・都道府県石油商會  
協賛：石油産業、公益社団法人日本トラック協会、日本ガソリン計量機工業会  
電報：内閣府防災担当（防災担当）、資源エネルギー庁、国土交通省

全国石油商業組合連合会  
〒100-0014 東京都千代田区千代田7-14-1000番地  
東京都千代田区千代田7-14-1000番地  
TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112  
E-MAIL: info@zensekiren.or.jp  
詳しくはこちら <http://www.zensekiren.or.jp/mantan-undo>



2023年4月

全国石油商業組合連合会（全石連）  
満タン&灯油プラス1缶運動推進委員会

# 参加状況 (SS・ローリー)

## 参加SS

	参加SS	普及啓発
北海道	1,133	66
青森	396	27
岩手	384	26
宮城	446	32
福島	600	37
秋田	334	22
山形	315	23
新潟	744	53
長野	532	44
群馬	439	33
栃木	455	31
茨城	784	54
千葉	749	51
埼玉	720	53
東京	812	56
神奈川	625	45
静岡	766	53
山梨	296	20
愛知	1,113	59
三重	365	29
岐阜	544	35
富山	264	20
石川	157	14
福井	191	13

	参加SS	普及啓発
滋賀	201	14
京都	312	21
大阪	760	62
奈良	178	12
和歌山	243	18
兵庫	341	57
岡山	499	35
広島	574	64
鳥取	139	10
島根	40	18
山口	312	24
徳島	240	18
高知	250	20
愛媛	370	23
香川	298	19
福岡	657	41
大分	349	25
佐賀	50	14
長崎	345	23
熊本	444	29
宮崎	330	24
鹿児島	628	44
沖縄	200	19
合計	20,924	1,530

## 元売会社・トラック協会 ローリー協力台数

	協力台数	ステッカー 新規配布数	ローリー協力台数は2017年度時点の台数であり、2018年度以降の貼付台数は不明。  毎年度、追加、張替のためのステッカーを提供している。
ENEOS	1,048	135	
出光昭和シェル	750	475	
コスモ石油	449	-	
太陽石油	99	50	
キグナス石油	10	16	
トラック協会	1,019	382	
合計	3,375	1,058	

# 自治体等への石油組合の取り組み

自治体等が本運動の趣旨を理解し、積極的に推進、紹介する事例があった。

## ◆自治体との共同推進

- 三重県石油商業組合が自治体に本運動を積極的にPRしたことにより、県内各自治体のホームページ（三重県志摩市等）に本運動が掲載された。
- 2022年7月14日、北海道庁ホームページ「節電の取組」ページ内の今年度リーフレットに本運動が掲載された。
- 2022年9月2日に山形県石油商業組合が山形県防災危機管理課へ訪問し、満タン運動ホームページのリンク継続を依頼したことで、県庁防災関連ページに「車へのこまめな満タンと暖房用灯油の備蓄」の重要性が掲載された。
- 新潟県石油商業組合が2022年9月7日に新潟県防災企画課および2022年10月7日に新潟市土木総務課に主旨を説明したことで、県の出先を含む掲示板および市内の各区役所にポスターが掲示された。
- 2022年11月、富山県商業石油組合が自治体に協力要請を行ったことで、満タン運動のポスターが県庁に掲示された。
- 福井県石油商業組合が自治体に協力要請を行ったことで、福井県・福井市・鯖江市・越前市・越前町・敦賀市の広報誌11月号に満タン運動が掲載された。
- 2023年1月、長野県飯山市の広報誌に満タン運動が掲載された。
- 各自治体のホームページや広報誌では、日ごろから、災害（地震、停電等）に備え、「災害時に役立つアイテムの確認、準備」に加えて、「車の燃料メーターが半分程度になったら満タンにする」、「灯油は1缶多めに備えておく」（『満タン&灯油プラス1缶運動』）ことを心がけるように普及啓発が行われた。

## \*過去の掲載実績

H P、広報誌への掲載…山形県、長野県木島村、群馬県、栃木県、千葉県、山梨県、奈良県奈良市、福岡県福岡市、大分県等

## 掲載例

**満タン&灯油プラス1缶運動**

満タン&灯油プラス1缶運動とは、大規模災害発生直後、店頭混雑によってガソリン等燃料が入手困難となった状況を回避するために、「日頃から車の燃料が半分程度になったら満タンにしておくこと」や「灯油を1缶余分に保管しておくこと」を推奨する運動です。

**満タンで安心**  
**灯油プラス1缶で安心**

- プライバシー空間としての車内を軽種収量拠点として利用できます。
- 灯油が1缶(18ℓ)余分があれば
- 暖かい空間を85時間程度維持できます。(室温7℃を半室温とした場合)
- 車の燃料が満タンになっていれば
- 400km程度の移動が可能になります。(タンク容量、車両重量により異なります)
- ホームタンクをお使いの地区でも、1缶余分に持つことで災害時の安心度が高まります。

もしもの時のために、車は満タンに、灯油は多めに備えましょう。

●お問い合わせ先  
全国石油商業組合連合会  
TEL:03-3593-5811代  
FAX:03-3580-9245

**災害に備えて「満タン&灯油プラス1缶運動」**

全国石油商業組合連合会及び全国47都道府県石油組合では「車のタンクは満タン」に「灯油は1缶余分を持って保管」を心がける「満タン&灯油プラス1缶運動」を展開しています。

実際に被災経験のある方が多くが「災害で車の燃料や灯油の入手に困ったことがある」と回答しています。

また地震や台風による停電の影響で営業しているガソリンスタンドには燃料を求めた人々の行列ができ、給油待ちの自動車により交通渋滞が発生し復旧活動等へ影響があったとの事例もあります。

災害に備えて「自動車の燃料メーターが半分になったら満タンに。」「灯油は1缶多めに。」を心がけてください。

※灯油の備蓄については、正しい保管方法を心がけ、漏洩の故障や火災を起こさないよう十分に注意してください。

詳細については、「満タン&灯油プラス1缶運動ホームページ」(別ウインドウで開く)をご覧ください。

**お問い合わせ**

志摩市役所 危機管理課 防災危機管理室  
〒517-0592 三重県志摩市阿我町力3099番地22  
電話番号: 0599-44-0203  
ファクス: 0599-44-3252  
お問い合わせはこちらから

# PRツール

11種類のツールを活用し満タン運動のPRを行った。

## 満タン&灯油プラス1缶運動PRツール

【1.屋外用のぼり】



【2.SS店頭掲示用ポスター】

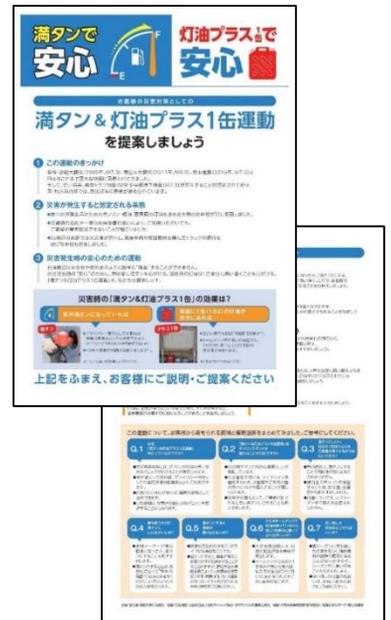


【3. Twitterキャンペーンチラシ】

【5.大型ローリー用マグネットステッカー】



【7.スタッフ用マニュアル】



【4.小型ローリー用マグネットステッカー】



【6.SSスタッフ用バッジ】



【8.組合員向けホームページ】

【9.消費者向けホームページ】



【10.自立ロールアップバナー】

災害でも **満タンで安心**

**灯油プラス1缶で安心**

車の燃料はメーターが半分程度になったら**満タン**に。  
灯油は**1缶多め**に備えましょう。

**満タン&灯油プラス1缶運動**

「満タン&灯油プラス1缶」のメリット

- パニックバイを回避できる**  
混雑するガソリンスタンドに並ぶ必要なく、燃料切れの心配も軽減します。
- 車を避難場所に活用できる**  
冷暖房が使えるプライベートスペースとなり、車内ラジオからの情報収集、スマホの充電もできます。
- 灯油プラス1缶備えることで**  
暖かい空間を長時間維持でき、災害時の安心度が高まります。

**過去の災害で燃料の入手が困難に**

- ガソリンスタンドに大行列**  
ガソリン、軽油、暖房用の灯油を求める人がガソリンスタンドに殺到した。
- 燃料不足が発生**  
交通網の遮断や一時的な在庫不足などにより、希望の量を販売できない事態が起こりました。

【11.展示用大型PRパネル】

**災害時に 買い求めパニックが発生**

大地震や豪雨などの災害が発生したことで燃料の入手が困難になり、生活に大きな影響が生じました。

- ガソリンスタンドに大行列**  
ガソリン・軽油、暖房用の灯油を多くの大乗客の乗客がガソリンスタンドに殺到しました。
- 供給不足が発生**  
災害時の急激な需要増に対応できず、ガソリン・軽油、暖房用の灯油を供給できず、ガソリンスタンドに殺到しました。
- ガソリンスタンドに溢り溢り**  
周辺道路での大渋滞や緊急車両の通行などにより、お客様がガソリンスタンド内に溢り溢り発生しました。
- ガソリンスタンドの営業不能**  
2011年7月の東日本大震災で発生した地震による被害の受け、東北でガソリンスタンドが営業不能になり、顧客が殺到して発生しました。

満タンで安心 灯油プラス1缶で安心

不測の災害に備える 「満タン&灯油プラス1缶運動」

車の燃料メーターが半分程度になったら**満タン**に。  
灯油は**1缶多め**に備えましょう。

- 満タンであれば**  
緊急時により遠くまで移動できる  
タンク容量や車の重量により異なりますが、満タンの状態で約400kmの移動が可能です。
- 車を避難場所として活用できる**  
アイソレーションタンクが40℃未満の温度で車内ラジオからの情報を録音して車内の充電ができます。また、冷暖房が使えるプライベートスペースとなります。
- 灯油がプラス1缶あれば**  
供給断絶時の備えになる  
地震や台風などの災害で、暖房や炊爨に利用する燃料が不足します。また、ホームタンクを貯蔵している場合でも1缶多めに備えて、災害時の安心度がアップします。

65%の人が「災害時に燃料の入手に困った」経験があります。

Q. 地震や台風などの災害で、燃料の入手に困ったことがありませんか？

ない 35% ある 65%

満タンで安心 灯油プラス1缶で安心

ガソリンスタンドは 災害時の最後の砦

停電時でも営業可能なガソリンスタンド(住民拠点SS)の整備を進め、災害時に緊急車両や地域住民に燃料を供給します。

災害時に備える住民拠点SS

住民拠点SS 設置目標

全国 15,000カ所

ガソリンスタンドは「エネルギー供給の最後の砦」として使命感を持ち、災害に備えた訓練を行っています。また、ご来店のお客様に「満タン&灯油プラス1缶運動」の啓発に努めています。

入り口付近 店内

満タンで安心 灯油プラス1缶で安心

# 大型タンクローリー車でのステッカーPR

元売会社管理下の2,356台、トラック協会会員の管理下で1,019台、計3,375台の大型タンクローリーの車体後部に統一ステッカーシールを貼り、ドライバー等にPRした。  
 (台数は2018年9月時点。以後、追加・張替が実施されている)

E N E O S : 1,048台



出光昭和シェル : 750台



コスモ石油 : 449台



太陽石油 : 99台



キグナス石油 : 10台



# 高速道路SA・PAでのPR

- 資源エネルギー庁、国土交通省の支援により、ネクスコ東日本、中日本、西日本の3社から『満タン運動』のPR活動へ協力を得られた。
- 3社が管轄するSA（サービスエリア）・PA（パーキングエリア）の各デジタルサイネージ（公共的なPR専用、トイレ近辺に設置）にて、「満タン&灯油プラス1缶運動」のポスターデータを9月1日～11月30日の3か月間掲出した。  
(ネクスコ東日本は9月1日～12月31日の4か月間)

## <掲出実績>

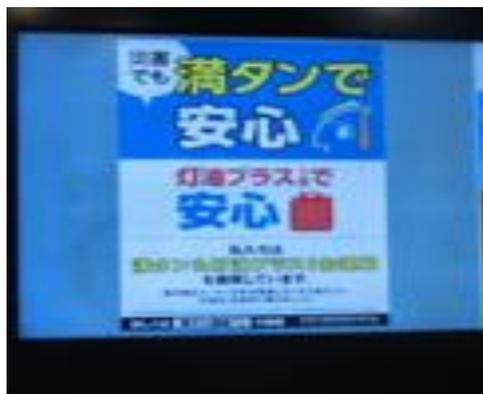
ネクスコ東日本（SA・PA）：**312エリア中243エリア**（約8割）  
9月1日～12月31日

ネクスコ中日本（ 〃 ）：**214エリア中168エリア**（約8割）  
9月1日～11月30日

ネクスコ西日本（ 〃 ）：**188エリア中146エリア**（約8割）  
9月1日～11月30日

## <掲出例>

ネクスコ東日本



ネクスコ中日本



ネクスコ西日本



●京葉道路・京葉市川PA（下り）

●海老名SA（下り）

●第二京阪・京田辺PA（上り）

# 消費者向けホームページ、SNS

- 本運動のCM動画やポスター画像を掲載し、消費者向けホームページに公開。本運動の主旨や活動の目的などを分かりやすく伝える内容とした。

- ホームページ (<http://www.zensekiren.or.jp/mantan-undo>)



- 本運動の公式TwitterやYouTubeでもPR。

- Twitter



- YouTube



# 普及啓発事業：テレビCM

(1) 放送期間：2022年9月1日（木）～30日（金）

キー局（日本テレビ・テレビ朝日・TBS・フジテレビ）で合計16本放映

(2) CM内容

2019ミス・ティーン・ジャパン グランプリの受賞者でモデル・女優として活躍が期待される宮部のぞみさんを起用し、30秒の動画で本運動の主旨や燃料備蓄の必要性を伝えた。



(3) 放送一覧

放送日程	放送局	ネット局数	放送曜日	放送時間	番組名	世帯	個人全体	平均参考視聴率						
								男 20~34才	男 35~49才	男 50才以上	女 20~34才	女 35~49才	女 50才以上	
9月1日	CX	26	木	1957 - 2100	奇跡体験!アンビリバーボー	7.2	4.2	1.3	3.2	4.3	3.4	4.7	6.3	
9月1日	CX	26	木	1145 - 1445	ポップUP!	1.6	0.8	0.1	0.3	0.7	0.6	1.1	1.6	
9月1日	EX	24	木	1200 - 1300	ワイドスクランブル2部	5.1	2.8	0.2	0.9	4.5	0.2	0.4	6.2	
9月2日	CX	26	金	0800 - 0950	めざまし8	5.1	2.6	0.8	1.6	3.4	0.9	2.8	4.9	
9月3日	CX	26	土	2435 - 2515	S-PARK	1.5	0.8	0.5	0.7	0.8	0.8	1.4	0.9	
9月5日	NTV	28	月	0800 - 1025	スッキリ!	5.2	2.8	0.7	2.0	2.2	2.0	6.0	3.9	
9月5日	NTV	28	月	1155 - 1355	ヒルナンデス	4.4	2.1	0.9	1.6	1.2	2.0	3.4	3.9	
9月8日	EX	24	木	1200 - 1300	ワイドスクランブル2部	6.3	3.3	*	0.7	6.2	0.1	0.7	6.9	
9月9日	TBS	28	金	2100 - 2200	ザ・ベストワン	4.3	2.7	1.9	1.8	2.3	2.4	3.4	3.7	
9月12日	NTV	28	月	0800 - 1025	スッキリ!	5.5	2.7	0.9	2.9	1.8	2.5	5.6	3.8	
9月15日	EX	24	木	1200 - 1300	ワイドスクランブル2部	5.7	2.8	0.4	0.5	5.5	0.2	0.4	5.9	
9月19日	NTV	28	月	0800 - 1025	スッキリ!	6.6	3.7	1.4	4.1	3.3	3.1	6.2	4.7	
9月22日	EX	24	木	1200 - 1300	ワイドスクランブル2部	5.1	2.6	0.2	0.7	5.1	*	0.2	5.5	
9月25日	NTV	28	日	1730 - 1800	笑点	10.8	6.1	1.7	3.4	10.8	2.2	3.5	9.8	
9月26日	NTV	28	月	0800 - 1025	スッキリ!	4.8	2.5	1.0	2.1	1.7	2.1	5.2	3.7	
9月29日	EX	24	木	1200 - 1300	ワイドスクランブル2部	5.1	2.5	0.4	0.6	4.4	0.7	0.4	5.2	

計16本（全て30秒提供） ※視聴率（%）は関東エリアの数字

## 【①PR動画の作成・配信】

- テレビCMでの周知を入口にWeb動画で「理解促進」を促した。
- Web動画は、テレビCMと別の構成で2本作成し、「**NewsTV Network**」、「**Facebook**」、「**Twitter**」、「**Instagram**」、「**YouTube**」で配信。
- 実施期間：2022年9月20日～10月19日



○リポーターインタビュー編



○被災者インタビュー編

## 【②天気アプリ（ウェザーニュース）を活用したPR】

- ウェザーニュース内で、『満タン＆灯油プラス1缶運動』の15秒程度の紹介動画を下記の条件設定で配信。
  - ① 気象状況に応じた配信（台風や大雨、雪予報の際に配信）
  - ② 気象条件に加えて、地震（震度4）があった後の配信
- ウェザーニュースとのタイアップとして、満タン運動に関するコラム記事を掲載。
- 実施期間：2022年9月1日～2023年1月15日

## 【③シネアドスポット（映画上映前の広告配信）】

- 寒冷地（北海道、東北6県、北信越地方5県）の映画館で映画上映前の時間に広告を配信。専任視聴が整った環境で、認知拡大を図れる広告配信枠で『満タン運動』のPRを実施。
- 上映作品：「すずめの戸締まり」（2022年11月11日 公開）
- 実施期間：2022年11月11日～11月24日

# Twitterキャンペーン

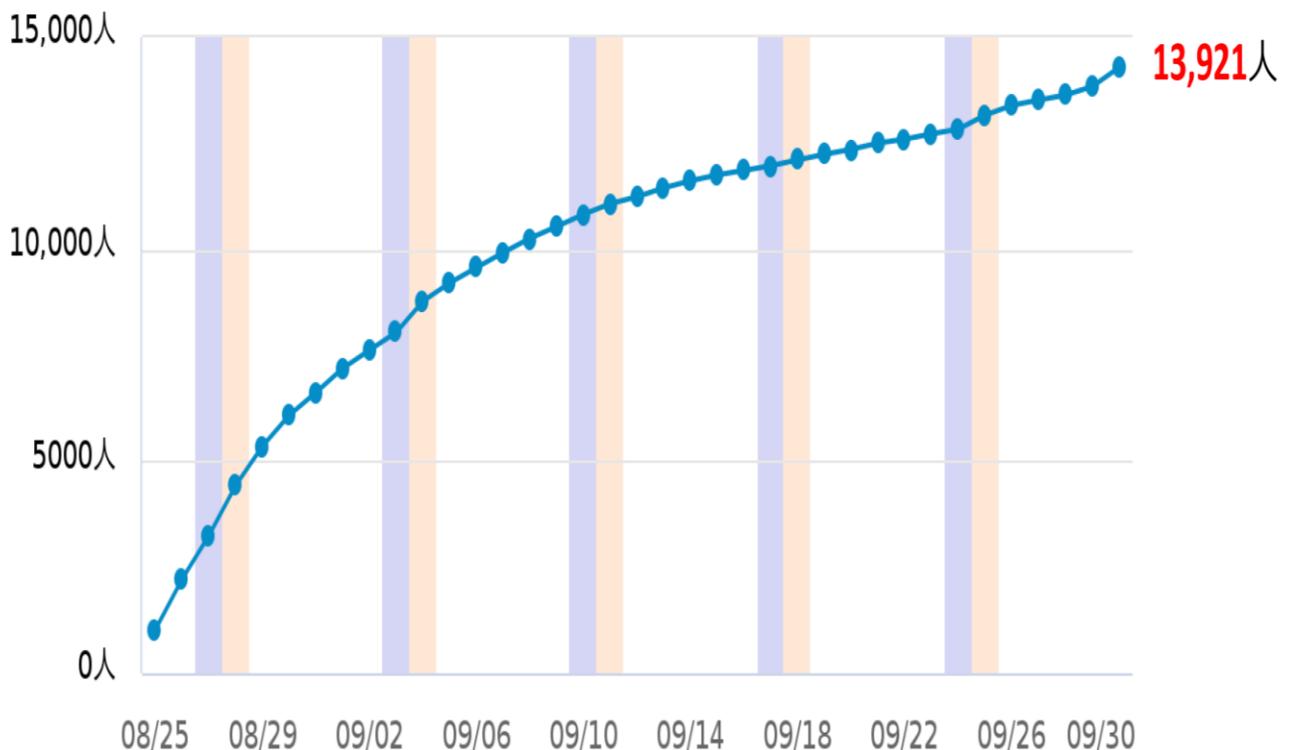
## 【①概要】

- ガソリンのギフト券を懸賞品（3,000円×100名）とし、Twitterでキャンペーンを実施。
- ユーザにTwitter上で、『満タン&灯油プラス1缶運動』を知ってもらいその後、Twitterユーザーから満タン運動の啓蒙をしていく。
- キャンペーンスキームは、最もユーザーが参加しやすい「フォロー＆リツイート」
- キャンペーンの実施期間は2022年8月25日～9月30日

## 【②結果】

- キャンペーン期間中の応募者数は、**13,921人**
- 多数の応募を獲得できた要因として、「**①時期的に台風の発生や防災の日周辺ということもあり、防災に関連する意識がTwitterユーザー内で高かった**」、「**②ガソリンのギフト券自体に価値があった**」という2点が考えられる。
- キャンペーン投稿へのコメントでは、ポジティブなコメントが多く、本キャンペーンに対して好意的なユーザーが多かった。

## 【◆応募者の推移】



### 3：効果測定について

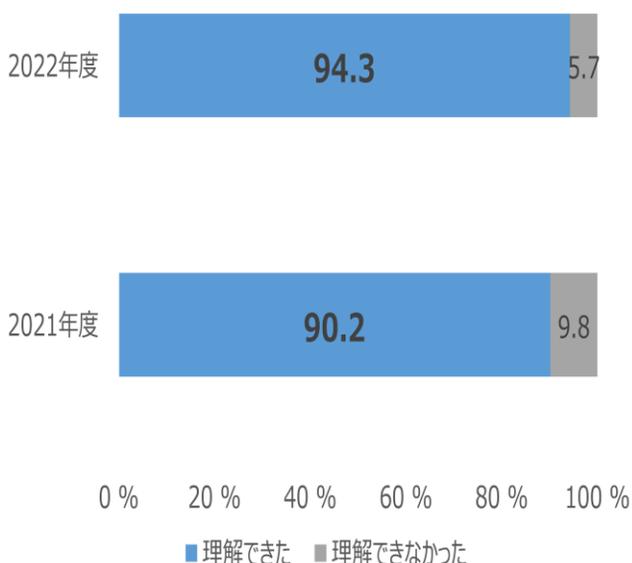
#### ◆消費者の評価

- 満タン&灯油プラス1缶運動の認知度、理解度及び災害時の備えとしての効果を中心に全国のドライバー1,000人に対して、Web上でアンケートを2022年11月に実施し、集計を行なった。
- 本運動の認知度は、全体で11.5%（昨年度：11.9%）となり、昨年度比ほぼ横ばいとなった。一方で、理解度は94.3%（昨年度：90.2%）、効果があると思うは90.3%（昨年度：87.1%）と昨年度よりも高い評価の回答を得た。また、「生活者の安心・安全啓発になる」が90.9%（昨年度：84.5%）となり、9割の方々が消費者の安心・安全につながる運動であると感じていることが改めて確認された。

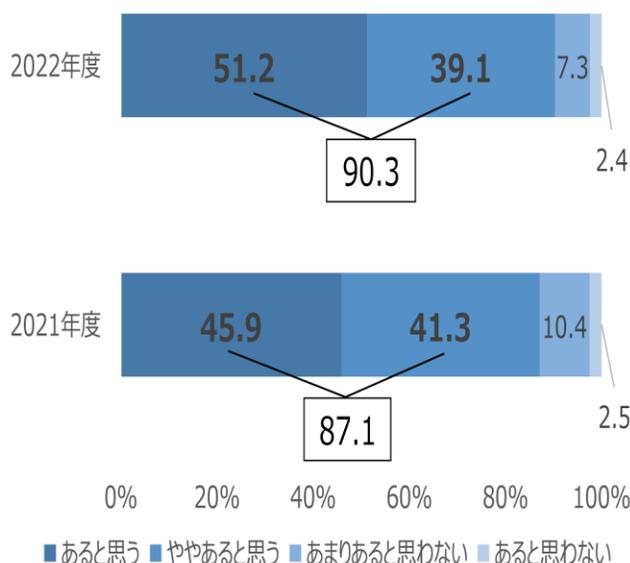
#### 「満タン運動」目的・効果の理解度

- 「満タン運動」の目的・効果の理解度は**94.3%**が理解できたと回答。（昨年：90.2%）
- 「満タン運動」が『災害時の備えとして効果がある』と回答した人は**90.3%**となった。（昨年：87.1%）
- 目的、効果の理解度共に昨年を上回る結果となり、各施策の効果が実証された。

「満タン運動」の理解度



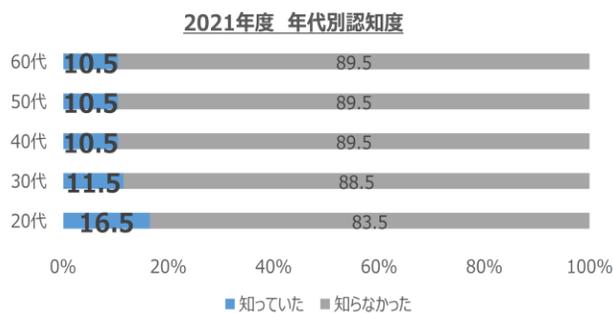
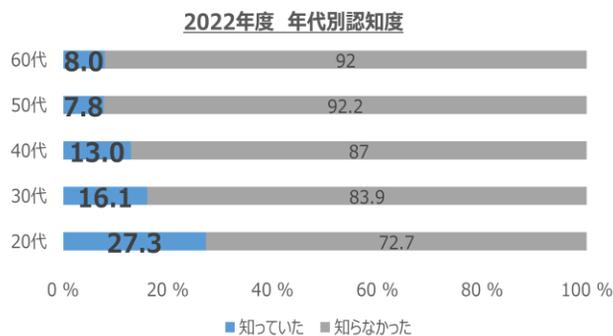
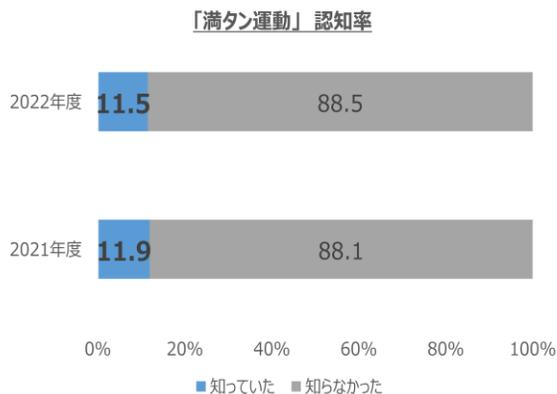
「満タン運動」の効果



# Webアンケートサマリ①

## 「満タン運動」認知率（昨年比較）

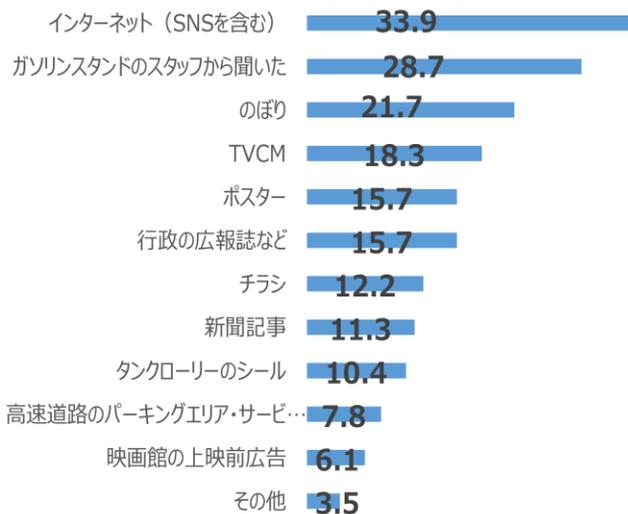
- 「満タン運動」認知率は**11.5%**で、21年度調査から**0.4pt**低下。
- 20代・30代・40代の認知度は上昇したが、50代・60代の認知度は低下。



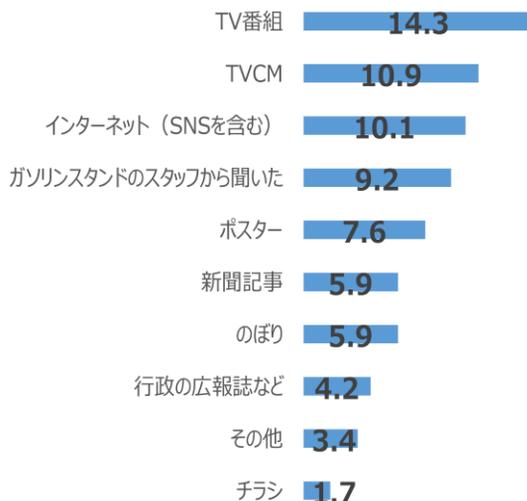
## 「満タン運動」認知経路

- 「満タン運動」認知経路として最も多かったのは**インターネット（SNSを含む）**。  
Twitter、ウェザーニュースアプリ、インターネット広告等でのPRが効率的に行えた結果となる。
- ガソリンスタンド店頭でのPRやテレビCM**についても認知経路として数値が高かった。

### 2022年度：「満タン運動」認知経路



### 2021年度：「満タン運動」認知経路

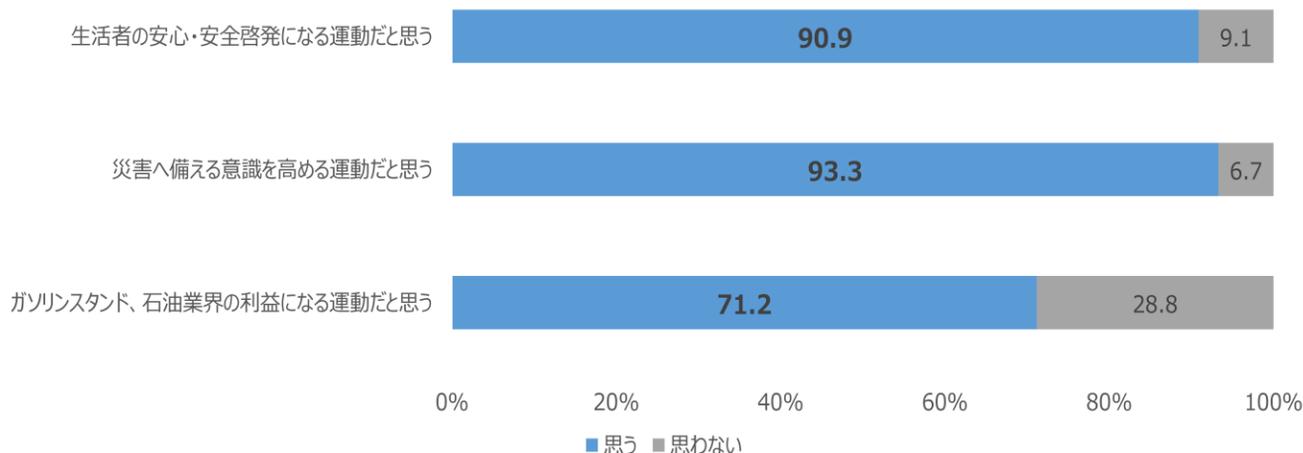


## Webアンケートサマリ②

### 「満タン運動」に対するイメージ

- 「満タン運動」に対するイメージとして、『生活者の安心・安全啓発になる運動だと思う』は**90.9%**（昨年：84.5%）、『災害へ備える意識を高める運動だと思う』は**93.3%**（昨年：88.1%）と好意的なイメージを持つ人が多かった。
- 一方で、『ガソリンスタンド、石油業界の利益になる運動だと思う』については、**71.2%**（昨年：68.8%）と昨年度より数値が上がった結果となった。

### 「満タン運動」に対するイメージ



### 「満タン運動」に対する意見（自由記述抜粋）

#### 【好意的な意見】

- 私も東日本大震災という大きな災害を経験しているので、満タン&プラス灯油1缶運動には非常に共感できます。震災後から常に余裕を持ったガソリン給油と灯油購入を心がけてきました。
- クルマのガソリンはある程度減ったら、給油で満タンにしておく必要を強く感じる。
- 電気を使わない、石油ストーブが必要だと思った。
- 災害など不測の事態に備えて、ガソリンスタンドや灯油の利用のあり方を真剣に検討したい。
- 普段からガソリンはなるべく満タンにする様に心がけています。この運動には概ね賛成です。台風や大雨予報の際には事前にガソリンを入れるようにもっと啓蒙してほしい。

#### 【否定的な意見】

- 最近はガソリン価格の高騰で満タンにすると結構な金額になるので、運動は理解できても結構大変です。
- 灯油自体を自宅で使用しないため、必要性を感じない。
- 満タンにすると車重が重くなるので、燃費が悪くなり、微々たるものかも知れないが環境への負荷が悪くなるというような負の側面もあると思う。
- オール電化住宅が増えているのであまり灯油灯油と言われてもピンとこない。
- 灯油の持ち運びは大変だし、引火してしまうのではないかと不安です。それに石油ストーブの無いまたは、使えない集合住宅に住んでいる人は災害時にどう備えればよいのか悩んでしまった。